

生きるを伝える写真展 展示ガイドライン

2018.7.10

1.「生きるを伝える写真展」展示プラン

それぞれの写真が潔くシンプルに展示される、印象的な空間作りと、その写真の笑顔までのそれぞれの経歴や思いを、伝える部分を外側と内側に分けて展示する展示什器を 8 台並べます。

それぞれを表現するパーソナルな空間には、撮影のオフショットやメッセージを展示することで、言葉だけでは伝えきれない部分を伝えます。

外側の写真の部分をつただ鑑賞する人もいれば、内なる部分を読み込む人もいて、この写真展を見る人のそれぞれの思いを受け入れるような展示ができる仕掛けとなります。

組み立て・自立可能でどこでも展示ができる什器で、全国の巡回展にも低コストで印象的な展示を実現します。天井からは主催者の高橋絵麻さんのメッセージやいろいろな表情の顔のモビールを吊り、POP で優しい空間をつくりだします。

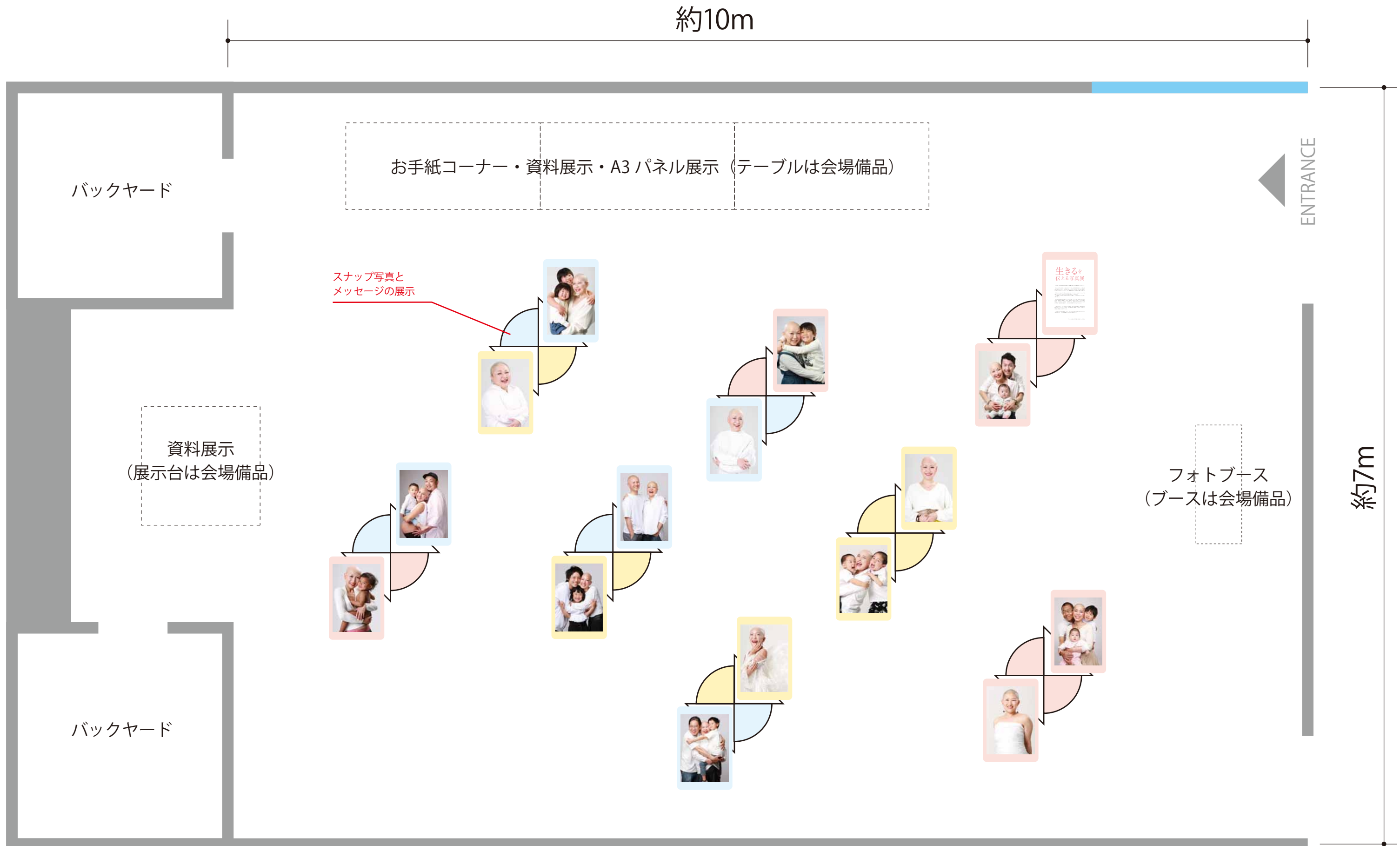
主催者・撮影者・運営者のプロフィールパネルは、A3 のスタンドパネルとなっており、卓上に展示できます。

※モビールの吊り下げをするかどうかは、会場の状況で判断してください。

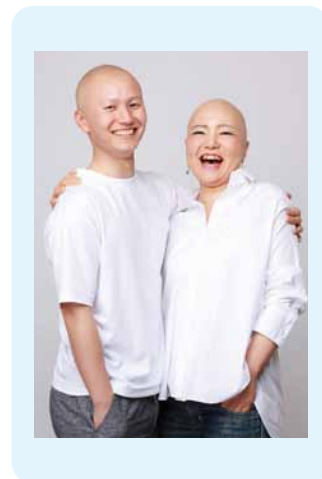
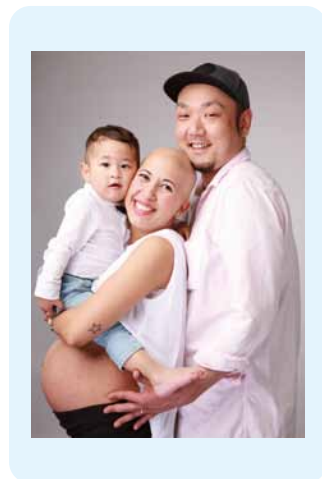
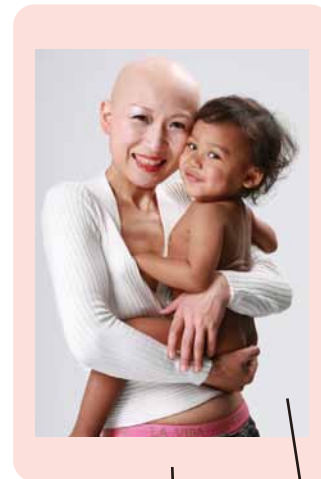
※フォトブースは各会場で工夫して作ってください。フォトプロップスのみご用意しています。



2. 展示配置例（Living space Atha. での展示例） ※会場によってレイアウトを調整してください。



3. ごあいさつパネル・写真パネル



パネル（B2 ゲタ付）
背面にフックを引っ掛ける
金具がついています。

什器のパネル取り付け部分。
3色あります。必ずしも
この組み合わせでなくてもよいですが、
会場にバランスよく色が配置されると
良いと思います。

4. A3 パネル

A3 (210mm×297mm)

背面に紙スタンドがついています。

EitoMars (エイトマーズ) 『生きるを伝える写真展』フォトグラファー

私がカメラマンになったきっかけは、20代半ば頃、がんを患った母の遺影を撮影したことでした。余命1年を宣告され「遺影を撮影して欲しいの」と、暗い顔のとなす。まわりに着飾ってピンク色の口紅をひいて、笑顔でカメラの前に立つ母。まだ趣味でカメラをやっていた未熟な頃でした。何百とシャッターを切って撮れた最後の一枚。まるで母の笑いがそのままだとこえてくるかのよう。そんな「生きた一枚」が撮れたのでした。その後母は他界しましたが、私が写真を撮る上でモットーにしている「まるで声が聞こえてくるような生きる写真」の第一号となり、今も私の心の真ん中には母のその表情があります。

『坊主の女性を撮る』ということ。髪が抜ける。それは大変ショックなことだと思います。ただでさえ不安な中で、髪がない自分を見て、「夫にどう思われるかな」「女性として見てもらえるかな」「どんな反応をされるかな」と暗い気持ちに浸るされるかもしれません。

「髪は女の命」。確かにそうかもしれない。ですが本当にそうでしょうか。髪は今まで「私の一部」を作ってくれたかもしれませんが、「私自身」の中にある「美しさ・芯・人愛する気持ち」はいつだって過去も今も変わらずに詰まっている。つまり、「私」というものの中身は何も変わらないのです。今回モデルとなる女性の方々が持つ、唯一無二の「美と愛」を表現したいのです。

外見が変わってしまうかもしれないことに、たくさんの不安を抱えている方がいらっしゃいます。ですが、それって「坊主の女性を見慣れてないからだけじゃないの?」とも思います。そして、どんな外見でも本質は変わらない。みんな美しいのです。

「ありのままのあなたが綺麗」だと言って欲しい。自信を持っていい。ありのままの笑顔を見せてほしい。ありのままの私で愛したいし、愛されてたい。そんな温らかな想いを持つ女性を。麗やかに美しく。それぞれの輝きを魅せたいと考えています。



profile

福井縣福井市にあるフォトスタジオ TOL 代表。
母の遺影を撮影したことをきっかけに、まるで声が聞こえてくるような「生きる写真力」に魅了されカメラマンを志す。
これまでファッションブランドの撮影や、西武百貨店などで数多くの写真展を開催。鮮明で臨場感のある写真が特徴的。
現在は東京にて「1000 人の輝きを写すプロジェクト」を始動するなど活躍の場を広げている。最高のセトコマを切り取る「瞬間のフォトグラファー」。

生きるを伝える写真展をサポートするASPとは
Alopecia Style Project (アルペシア スタイル プロジェクト)

私達は Alopecia (脱毛症) のスペシャリスト

時に自分ではどうすることも出来ない、
理不尽なことに遭遇することがあります。
その時、あなたならどんな手段を使って切り抜けていくのでしょうか?

髪の毛はあるものと認識されている中、
発症年齢も、発症時期も様々で、
bald head 姿に愛を感じる人
ウィッグを着けることで、新しい自分に出会えることも。
ヘッドスカーフでオシャレを楽しみながら
コンプレックスを生きる原動力にしていきたいです。

私達は、特別な人ではなく、どこにでも存在しています。
今までは、点でしかありませんでした。
点と点がつながり、線になり
それが、実線となった瞬間、私たちは出会い、共鳴したのです。

髪を失ったことで、心を痛めるのではなく
その人が持ちあわせている美しさを引き出すこと
世の中と、髪のない人の接点を作り出す世界にしていきたいです。

私たちから、次の私たちへつなげる為に
子どもたちの、未来に続く道しるべになるように。

髪のある方も、ない方も、さまざまな困難をこえた貴方へ、笑顔を通して届かたい。
Alopecia Style Project の VISION は、「髪毛のイカダシムフをねごとす」こと。
髪のない女性の輝かれた美しさを引き出し、多様性ある社会の発展に寄与します。
さまざまなイベントを皆さんと楽しみながら、マイノリティへの理解を促していきます。

公式サイト
<http://alopecia2016.wixsite.com/alopeciastyleproject>



『生きるを伝える写真展』サポートスタッフ (Alopecia Style Project)



廣田純也 (専属ヘアメイク)

「美容を通して世界中の人々を笑顔にする」アプローチすることを目的とし美容による精神ケアの可能性を追求している。
医療、福祉、介護、難民支援、ファッションショー、ヘアメイク等その活動は多岐にわたる。
株式会社 Hearts 代表取締役、美容師として働きながら福祉大学に通い精神保健福祉士 (PSW) の資格取得を目指す。
<https://www.facebook.com/hearts.beautybank/>



角田真住 (運営サポート)

36歳のときに多発生脱毛症を発症。
脱毛症の女性でも生き生きと生活するために、世界一肌に優しいヘッドスカーフを考案。
啓蒙活動のため、講演活動にも力を入れている。
ASP では語学力を活かし海外折衝なども手掛ける合同会社 Armonia 代表社員
<http://scarf.jp/>
群馬イノベーションアワード入賞
テレビ東京「生きるを伝える」出演
<http://soar-world.com/2016/07/08/masumitsunoda/>



土屋光子 (メイクアシスタント)

7歳から脱毛症 (トリココマニア) 発症。
症状を含めた自分を受け入れ、表現するため。
パフォーマンスとして自ら活動。
元芸者の経験を活かし伝統芸能普及活動の他、tenho ファッションショーモデルなどで活動。
美容業界の経験から今回はアシスタントとしてメイクを手伝う。
<http://soar-world.com/2018/01/11/mitsukotsuchiya>

エイトマーズさん紹介

ASP 紹介

ASP 紹介



『生きるを伝える写真展』主催者 高橋 絵麻 プロフィール

ヨギンストラクター。二児の母。福井県福井市在住。
ヨガスタジオ・レンタルスペース Living space Atha. 主宰。
公式ブログ <https://ameblo.jp/mananayuilove>



2015 年 10 月に右乳が M ステージⅢa と告知を受け、その約 2 ヶ月後にはにっこり笑ったスキンヘッド姿と共に「しこり触ってキャンペーン」をスタート。同時に SNS にてカミングアウト。乳がん啓蒙を目的とした、しこりに直接触ってもらうキャンペーンは反響を呼び、メディアに多く取り上げられる。翌年 5 月の全摘手術までに約 250 人の方がキャンペーンに参加。治療中から自己検診の仕方を受えたピンクリボンヨガお話を多数開催。同じ病気の方や生き方に不安を感じている方からも、「考え方が変わりました!」との声が多数届くようになる。

現在もヨガレッスンに加え、「お母さん、自分を大切にしていますか?」というテーマのもと様々な場所で講演を行っている。また最近では、自身の中学での不登校経験をもとにした授業「ありのまま生きる～人は悩む生き物～」や、ガン教育も進めています。

高橋絵麻さん紹介

ありのままで愛していますか?
PHOTO BOOTH

いいところばかり見せたかった時代を経て、
関係もどんどん変化していくんだと思います。

夫婦は忙しい毎日のすれ違いから、
疎遠になることもあるかもしれないし、
親子は過度な期待から、遠いを認め合えずに
こじれていく場合もあると思います。

でもこういった病を抱えた時、
やっぱり受け入れて欲しいと期待してしまうのは
パートナーや、周りの大切な人たちなんです。

「髪が抜けても、おっぱいがなくなっても大丈夫かな...」
この言葉を伝えるまでに、ずっとモヤモヤしていた時...
「もちろん大丈夫だよ」という返事を聞くと、一気に安心しました。

この愛の確認は、なってからじゃなくて、なる前からしておけたら...

その願いを込めて、フォトブースを作りました。
大切な人とぜひ、愛の確認を。
そしてもし、あなたがこちら側の人になった時は、
撮った写真を見返してみてくださいね。

フォトブース紹介

生きるを
伝える写真展
を
全国に届けるために!

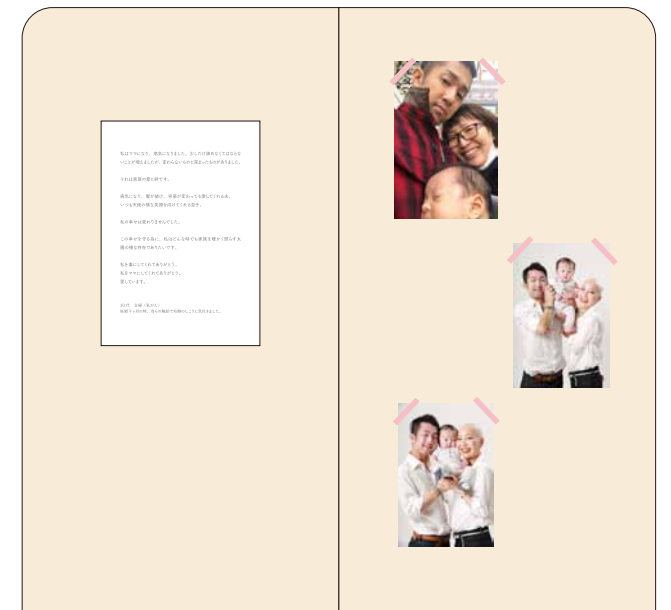
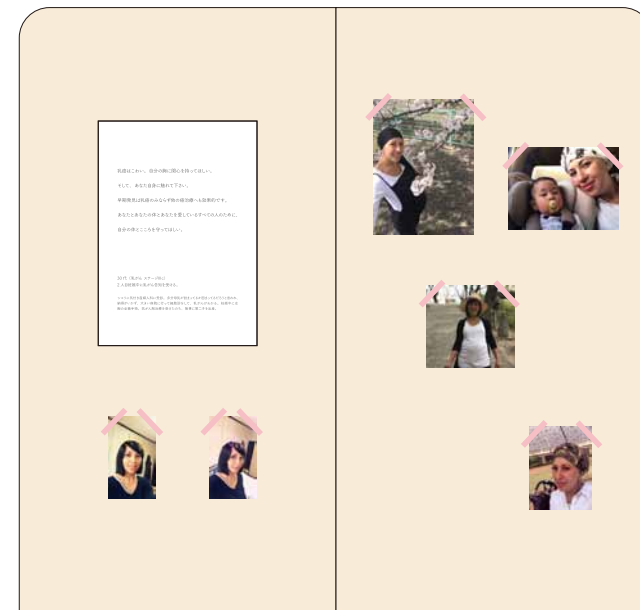
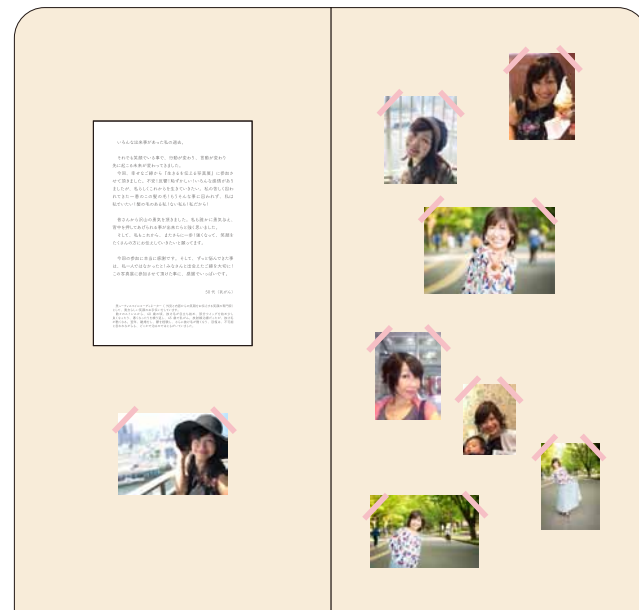
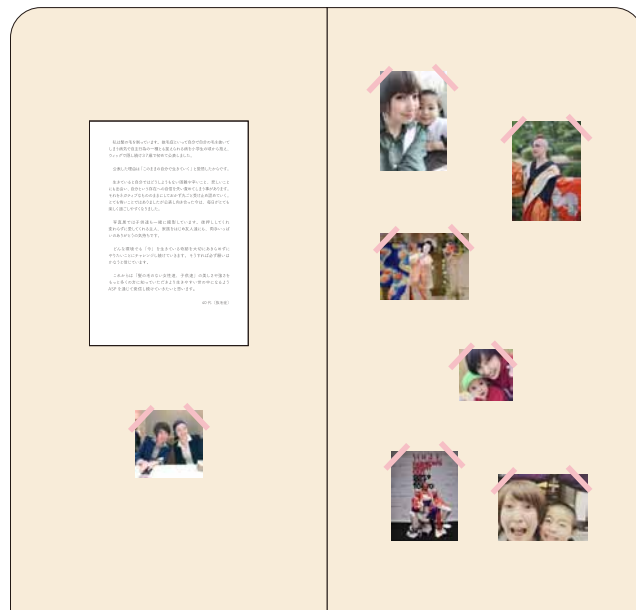
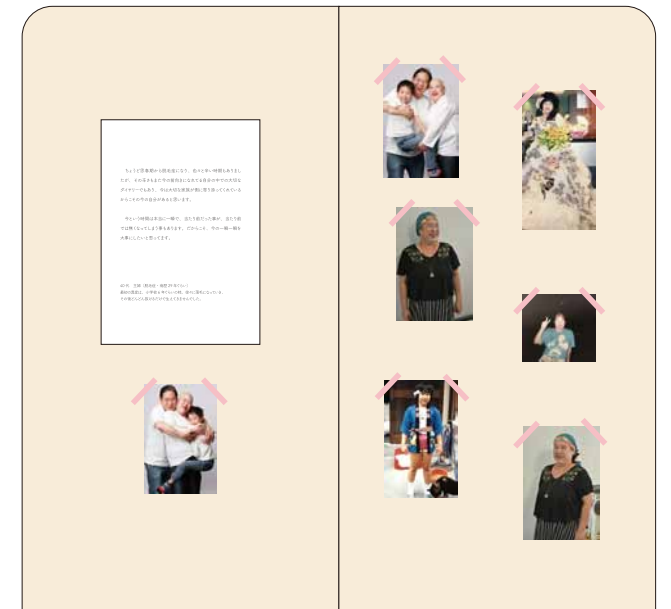
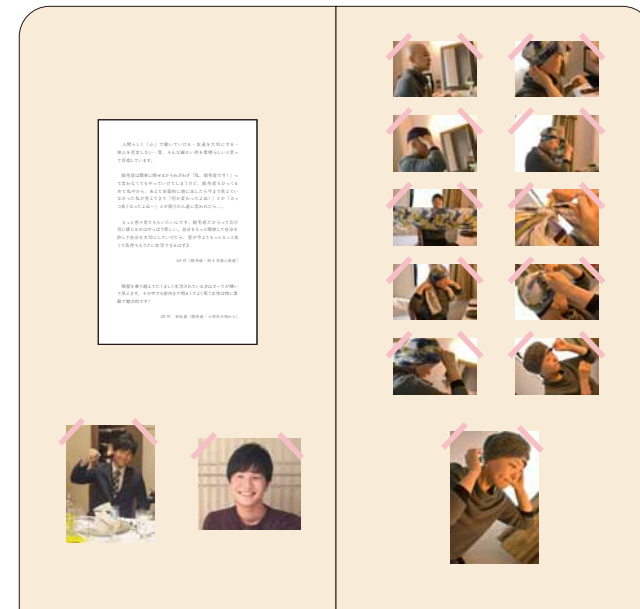
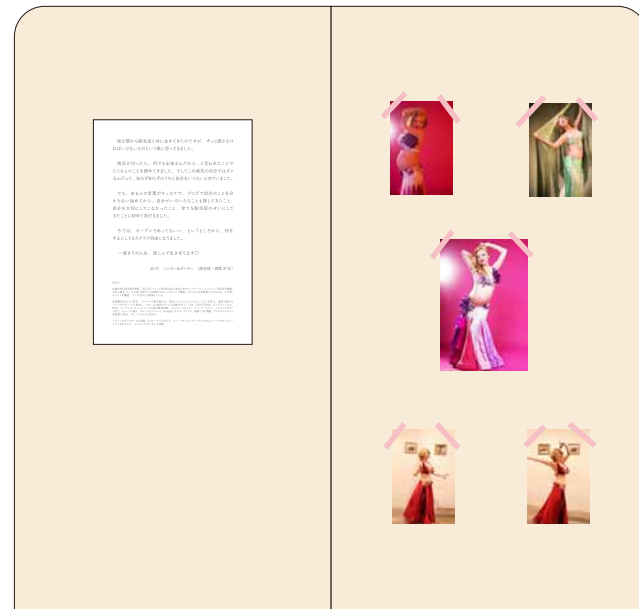
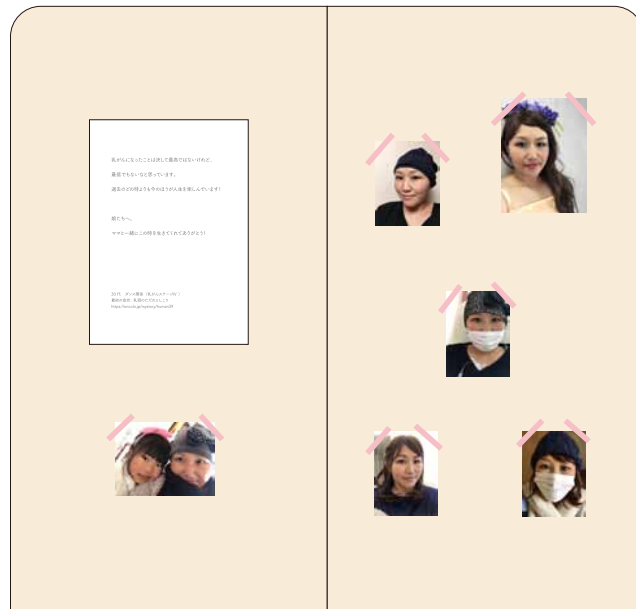
募金にご協力
ください

私に、生きる希望を
届けさせてください!

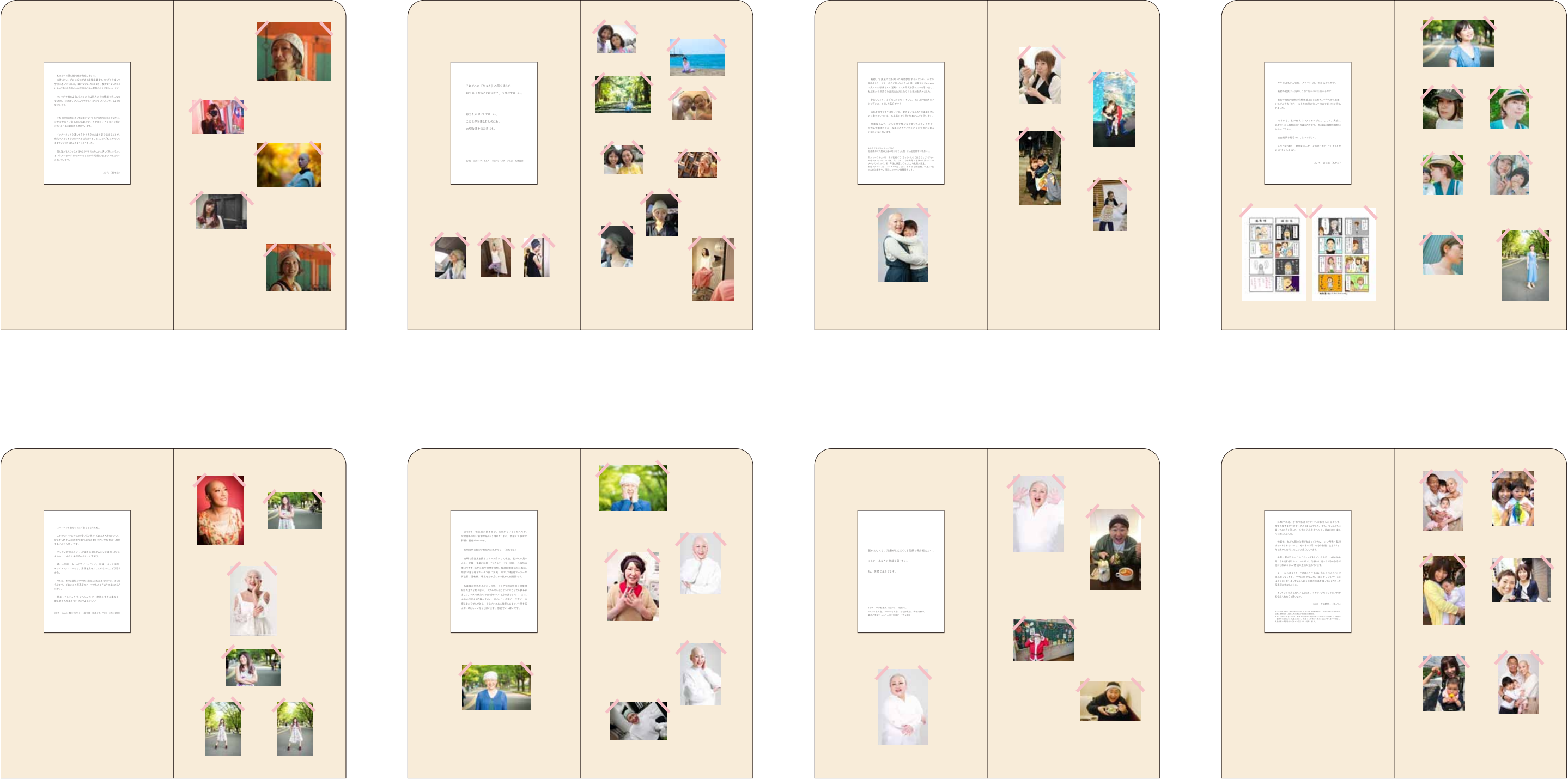
大阪、熊本、沖縄、名古屋、岐阜、札幌、東京など
たくさんの方から、「こちらでも開催してほしい!」
とのお声を頂いていて、本当に胸がいっぱいです。
是非、あなたの町で『生きるを伝える写真展』を
開催させてください! 皆さまのあたたかいご支援
をよろしくお願い致します。

募金お願い

5. メッセージとスナップ写真の展示



6. メッセージとスナップ写真の展示



8. 備品リスト

各自ご用意いただくもの：作業用手袋、テグス、はさみ、撤収時の梱包資材、募金箱など

	項目	数量
1	展示什器セット（A,B,C,C' ,D,D'）	8 セット
2	ごあいさつパネル（B2）	1 枚
3	写真パネル（B2）	15 枚
4	什器用ロープ（ピンク）	64 本
5	什器用ロープ（白）	32 本
6	什器用ロープ予備	適宜
7	什器用フック	30 個
8	什器用フック予備	2 個
9	メッセージパネル（A4）	16 枚
10	スナップ写真セット	16 セット
11	スナップ写真用マスキングテープ	8 巻

	項目	数量
12	フォトプロップス（2 種）	1 セット
13	フォトプロップス予備（2 種）	2 セット
14	屋内用タペストリー	1 枚
15	屋外用のぼり	1 枚
16	屋外用のぼりポール	1 セット
17	屋外用のぼりスタンド（水タンク式）	1 個
18	イーゼル※	1 台
19	コルクボード※	1 枚
20	触らないで（4cm×4cm） 	6 個
21	SNS・写真 OK（4cm×4cm） 	6 個
22	天井から吊るす顔とメッセージ	たくさん

	項目	数量
23	A3 パネル	6 枚
24	お手紙セット	☆随時追加
25	写真展パンフレット	☆随時追加
26	カウンター	1 個
27	BGM 用 CD	1 枚
28	販売用 CD	☆随時追加
29	歌詞カード	☆随時追加
30	ヒナタカコさん CD 紹介 POP	1 枚
31	CD 売り上げ金 BOX	1 個
32	イシヅカさん制作 DVD 2 種	1 セット
33	感想ノート	1 冊
34	絵本「しろさんのレモネードやさん」	1 冊
35	絵本「ママのバレッタ」	1 冊
36	チラシ類	☆随時追加
37	展示ガイドライン・データ CD	1 セット

- ・数量が「☆随時追加」となっているものは、販売や配布するものなので、足りなくなったら随時主催者にご連絡ください。
- ・備品の破損や追加発注が必要な場合は主催者にお問い合わせください（制作費はご負担お願い致します）。
- ・各自でご用意する募金箱で集まった資金は、各自の運営費にあててください。

※18 イーゼル・19 コルクボードは、「じかんはあと3年。何したい？」のメッセージボードセットです。